

定期作況報告

(平成26年8月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

7月下旬から8月中旬までの気象は以下のように推移した。

- 7月下旬：平均最高気温が26.5℃(対平年比+4.4℃)、平均最低気温は18.5℃(+3.7℃)と平年より高かったため、平均気温は22.2℃(+4.0℃)と平年より高かった。降水量は29.0mm(70%)と平年より少なかった。日照時間は77.4時間(161%)と平年より長かった。畑地温は18.3℃(+2.0℃)と平年より高かった。
- 8月上旬：平均最高気温が26.4℃(+2.0℃)、平均最低気温が19.6℃(+1.9℃)と平年より高かったため、平均気温は22.6℃(+1.9℃)と平年より高かった。降水量は50.5mm(207%)と平年より多かった。日照時間は41.6時間(86%)と平年並であった。畑地温は20.2℃(+1.6℃)と平年より高かった。
- 8月中旬：平均最高気温が23.0℃(-1.4℃)、平均最低気温が16.2℃(-0.8℃)といずれも平年よりやや低かったため、平均気温は19.4℃(-1.2℃)と平年よりやや低かった。降水量は45.5mm(131%)と平年よりやや多く、日照時間は43.8時間(97%)と平年並であった。畑地温は18.0℃(-1.2℃)と平年よりやや低かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は21.4℃(+1.6℃)と平年より高かった。降水量の3旬の合計は125mm(124%)と平年よりやや多かった。日照時間の3旬合計は162.8時間(115%)と平年並であった。畑地温は18.8℃(+0.8℃)と平年よりやや高かった。

4月からの主気象要素の積算値は、いずれも平年並に推移している。

a. 気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	22.2	18.2	4.0	22.6	20.7	1.9	19.4	20.6	△ 1.2	21.4	19.8	1.6
平均最高気温 (℃)	26.5	22.1	4.4	26.4	24.4	2.0	23.0	24.4	△ 1.4	25.3	23.6	1.7
平均最低気温 (℃)	18.5	14.9	3.7	19.6	17.7	1.9	16.2	17.0	△ 0.8	18.1	16.5	1.6
降水量 (mm)	29.0	41.4	△ 12.4	50.5	24.4	26.2	45.5	34.9	10.7	125.0	100.6	24.4
降水日数 (日)	5	4	1	4	3	1	5	4	1	14	11	3
日照時間 (hrs)	77.4	48.1	29.3	41.6	48.3	△ 6.7	43.8	45.3	△ 1.5	162.8	141.7	21.1
平均畑地温 (10cm,℃)	18.3	16.3	2.0	20.2	18.6	1.6	18.0	19.2	△ 1.2	18.8	18.0	0.8
最多風向	WSW			E			ESE					
平均風速 (m/s)	2.9			2.0			2.4					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値 (4月21日～8月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	1,850	280	662	1,563
平年	1,684	309	583	1,444
比較	166	△ 29	79	120

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー

作況：やや良

事由：2番草収穫時の草丈は平年より9cm低かったが、乾物収量の平年比は105%とやや多かった。7月下旬以降は概ね気温が高く、かつ降水量が多く推移したことから、2番草の生育が促進されたと見られる。
以上より、目下の作況はやや良である。

調査項目：

収 穫 期 (月・日)			収 穫 時 草 丈 (cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較
8.13	8.16	△ 3	56	65	△ 9

生草収量 (kg/10a)			乾 物 率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
893	957	△ 64	23.4	21.3	2.1	209	199	10	105 %

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成25年(最凶年)を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス (4番草)

作況：平年並

事由：7月下旬以降の気象条件が良好であったことから、草丈及び収量とも平年並まで回復したと見られる。
以上より、目下の作況は平年並である。

調査項目：

草 丈 (cm)		
本年	平年	比較
33	35	△ 2

生草収量 (kg/10a)			乾 物 率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
745	788	△ 43	18.7	18.7	0.0	139	145	△ 6	96 %

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成25年(最凶年)を除いた5か年平均値。